



## 平成28年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

## ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,821,585 万円	100.0%	104.8% (103.3%)	55,081,641 万円	102.3% (100.7%)
食 料 品	48,576,499 万円	84.0% (83.8%)	105.2% (103.7%)	46,663,171 万円	102.9% (101.3%)
農 産	7,031,533 万円	12.1% (11.4%)	102.3% (103.0%)	6,759,677 万円	100.2% (100.7%)
水 産	5,070,433 万円	8.8% (9.2%)	103.2% (103.1%)	4,869,476 万円	100.9% (100.6%)
畜 産	6,281,393 万円	10.9% (10.6%)	106.8% (102.3%)	6,011,731 万円	104.2% (99.7%)
惣 菜	5,504,020 万円	9.5% (9.4%)	105.2% (106.1%)	5,249,725 万円	102.4% (103.1%)
日配食品	10,698,756 万円	18.5% (18.0%)	106.1% (104.1%)	10,291,791 万円	104.0% (101.8%)
加工食品	13,990,363 万円	24.2% (25.2%)	106.0% (103.7%)	13,480,770 万円	103.9% (101.6%)
生活関連	3,745,488 万円	6.5% (6.8%)	102.7% (101.4%)	3,608,239 万円	101.1% (99.4%)
衣 料 品	1,832,583 万円	3.2% (3.0%)	100.4% (91.9%)	1,707,482 万円	98.9% (91.2%)
そ の 他	3,667,015 万円	6.3% (6.4%)	104.6% (105.4%)	3,102,749 万円	97.1% (99.2%)

## ② 数 値

全店総売上高	57,821,585 万円	店 舗 数	4,833 店舗
総売場面積	9,472,318.4 m <sup>2</sup>	総従業員数	266,850 人

店舗平均月商	11,963.9 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,054.1 円 (108.5%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.1 万円 (7.1 万円)	平均店舗面積	1,959.9 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.2 万円 (23.4 万円)	パート比率(前月)	78.5% (78.0%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 1月の天候は、全国的に前半は暖かい日が続いたが、後半は一転して気温が大幅に下がり、また、記録的な大雪となるなど、荒れた天候となった
- ・ 昨年と比べ、日曜日が1日多く、木曜日が1日少ない曜日回りであったことと年始の連休期間が短かったことにより、売上へは良い影響を与えた
- ・ 青果は、特に野菜で相場安が続いている、また、精肉部門は、牛肉は相変わらず相場高が続いているが、豚肉は、かなり落ち着いてきている

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 野菜は、月後半の気温の低下により、白菜などの鍋材料の販売が好調であった
- ・ 相場安の影響により、キャベツ、ほうれん草、キュウリなどが売上不振であった
- ・ 果実は、前月に引き続き、みかん、りんご、バナナが好調
- ・ いちごは、気温低下による供給量の減少により、売上を大きく減らした

### ○ 水産

- ・ 年始は、高温および連休期間が短かった影響もあり、刺身関連の販売が好調であった
- ・ 後半は、気温の低下に伴い、カキなどの鍋材料の売上が大きく伸びた
- ・ 旬魚であるブリは、天然物の水揚げが大きく減少し、売上を減らした

### ○ 畜産

- ・ 牛肉（特に国産）の相場は、引き続き高止まりの様相だが、年始のごちそうメニュー需要もあり、販売は比較的好調であった
- ・ 豚肉、鶏肉は気温低下により鍋材料の需要が拡大した影響により、大きく売上を伸ばした
- ・ 加工肉における、健康への懸念報道による影響は、少しずつ薄まってきている

### ○ 惣菜

- ・ 年始の連休が短かったため、寿司などのパーティーメニューの販売が好調であった
- ・ 春の食材（菜の花、筍など）を先取りした商品の訴求が目立ち、また、好調に販売できている

### ○ 日配・加工食品

- ・ 日配は、後半の気温低下に伴い、練り物、豆腐などの鍋材料の販売が好調であった
- ・ インフルエンザの流行により、機能性ヨーグルトの需要が大幅に拡大している
- ・ 加工食品は、他部門同様、鍋関連商品の売上を伸ばしたほか、降雪量の多かった地域では、カップ麺、水、缶詰などの備蓄食品の販売が好調であった

○ 「年始の営業状況」について

- ・ 年始の営業開始日は、元旦から営業している企業が多数を占めている、ただし、全店一律ではなく、各店舗の事情に合わせ設定しているケースも見受けられる
- ・ 年始連休期間が短かったことから、刺身や握り寿司などの、お祝い、ご馳走メニューの販売が好調であった

○ 「成人のお祝い、受験生応援マーケット」の状況について

- ・ 成人のお祝いマーケットは、少子化の影響もありやや縮小傾向も、酒品群の「お試し需要」を喚起する企画など、工夫を凝らした販促で成功している事例もあった
- ・ 受験生応援マーケットは、惣菜を中心とした夜食メニュー提案や風邪予防を切り口とした販促などの成功事例があった

以 上